

京都文化交流 コンベンションビューロー通信

10月号

KYOTO
TRADITION MEETS INNOVATION

CONTENTS

- P1…第1回「古典の日文化基金賞」授賞式を開催しました
- P2…コロナ禍での MICE 誘致活動
- P2…Visa 連携による購買促進を目的としたフラッグプロモーションを実施
- P3…「京都観光ワクチン接種」を実施しました
- P3…京都迎賓館の PR 動画を作成
- P3…京都市中小企業等再起支援補助金
- P4…若者たちのために!!
特別賞「古典の日文化基金未来賞」を新設
- P4…「古典の日公式ホームページ」リニューアルオープン



第1回「古典の日文化基金賞」授賞式を開催しました



11月1日が「古典の日」として制定されて10周年を迎えるにあたり、彬子女王殿下を名誉総裁に奉戴して、日本の古典文化の研究・普及・啓発活動に貢献した個人、法人、団体を顕彰し、「古典の日」の推進に寄与するために「古典の日文化基金賞」を創設しました。

第一回の授賞式は、今年令和3年9月3日に開催され、<文学・思想分野>角田光代氏（作家）、<伝統芸能・音楽分野>沖縄伝統組踊「子の会」、<美術・生活文化分野>山本茜氏（截金ガラス作家）、<芳賀徹記念・古典の日宣言特別賞>ツバタナ・クリステワ氏（国際基督教大学名誉教授）の各氏が受賞されました。

【文学・思想】 角田光代（作家）



【受賞理由】

「池澤夏樹個人編集日本古典文学全集」において、『源氏物語』の現代語訳にあたり、読みやすさとスピード感にあふれた表現に意欲的に取り組み、世代をこえた多くの読者の共感を得て、古典文学の普及と啓発に貢献した。

「60歳になったら、再度、新訳に挑戦したい。」

将来の新新訳『角田源氏』にも期待して…

【伝統芸能・音楽】 沖縄伝統組踊「子の会」



【受賞理由】

「組踊」の伝承者としての活動を通じて、先達から脈々と受け継がれてきた文化遺産である沖縄の伝統芸能の世界を保存発展させ、次世代へ継承していくことに貢献してきた。

「子の会」の名前の由来でもある、琉球王国の士の誇りと、美ら海のような清い志をもって、今後とも、沖縄の古典芸能の普及発展に尽くしていただきたい。

【美術・生活文化】 山本茜（截金ガラス作家）



【受賞理由】

飛鳥時代、仏像を荘厳するため伝来した伝統的な截金の技法を、独創的な発想と手法で発展活用し、新たに、「截金ガラス」の技法を創出した。日本を代表する『源氏物語』に啓発され、54帖をモチーフにした作品完成をライフワークにするなど、今後とも、若さ溢れる意欲的な活動に期待したい。

【芳賀徹記念・古典の日宣言特別賞】

ツバタナ・クリステワ（国際基督教大学名誉教授）



【受賞理由】

ブルガリアの日本文学研究者として、来日後も、比較文化の視点から精力的に日本古典の研究を進め、『涙の詩学・王朝文化の詩的言語』等、多くの成果を発表してきた。芳賀徹先生とは、比較文化の研究者仲間として親交を深め、2008年11月1日の「源氏物語千年紀」国際フォーラムでも席を並べ、共に日本文化の国際発信に寄与した。

※第2回から新設される特別賞「古典の日文化基金未来賞」の詳細は裏面をご覧ください。

当ビューローでは、京都市が2013年に日本のMICE誘致をけん引する「グローバルMICE都市」として選定されて以降、関係各所と密に連携し、積極的にMICE誘致に取り組んでおります。

2020年は新型コロナウイルス感染症による影響から、世界的に多くのMICE開催が延期・中止となり、各誘致会議の誘致計画も大きな影響を受けました。

会議にもよりますが、国際会議は開催予定の2年～8年以上前から誘致活動が開始されるため、動きが止まってしまうと、コロナが終息した際、京都での会議開催件数が大幅に減ってしまうことから、コロナ禍でも継続した誘致活動が必要です。

そうした中、昨年から可能な限りのセールス活動を展開し、コロナ禍において、2023年以降に開催の2件の国際会議の誘致に成功しております。

さらには、2020年に新型コロナウイルス感染症の影響で京都での開催が不可能となった会議の主催者に対し、京都府・京都市と連携して知事・市長によるレターを发出し、主催者と連絡を取り合いながら、再度京都で開催していただくための活動を続けた結果、昨年延期・中止となった会議のうち、31件の再誘致に成功いたしました。

当ビューローは、「ウィズコロナ社会におけるMICE京都モデル」(第1版)を発表し、感染症対策に加えてコロナ禍における文化を取り入れた新しいMICEの形を提案したほか、助成金制度の拡充、「MICE京都モデル」第2版の策定、国連犯罪防止・刑事司法会議(京都コンGRESS)の成功等、数多くの取組を進めてまいりました。

常に先を見据え、関係各所と連携して、継続的に効果的な誘致活動を行ってまいります。



当ビューロー及び京都市観光協会では、2015年12月に締結された京都市とビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社(以下、Visa)の地域活性化包括連携協定に基づき、外国人観光客に対する買い物環境の整備や市内消費の拡大、京都ブランドの発信や観光振興に取り組んできました。今回は、Visaがワールドワイドスポンサーとしてサポートをした東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にちなんで、開催期間中に中京東商店街支部の13商店街と協力し、オリジナルフラッグやバナーを掲出することで、市内での消費喚起を図りました。

○掲出商店街一覧

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①河原町御所表繁栄会 | ②商店街振興組合寺町会 |
| ③京・寺町会商店街振興組合 | ④パレット河原町商店街振興組合 |
| ⑤河原町商店街振興組合 | ⑥三条名店街商店街振興組合 |
| ⑦寺町専門店会商店街振興組合 | ⑧新京極商店街振興組合 |
| ⑨寺町京極商店街振興組合 | ⑩河原町蛸薬師商店街振興組合 |
| ⑪花遊小路商店街協同組合 | ⑫京都錦市場商店街振興組合 |
| ⑬四条繁栄会商店街振興組合 | |

掲出数：計 804 枚

- | | |
|------------------------|-------|
| 小旗 (430mm × 670mm) | 682 枚 |
| 縦バナー (800mm × 300mm) | 52 枚 |
| 横バナー (600mm × 1800mm) | 58 枚 |
| 大バナー (1800mm × 2700mm) | 14 枚 |



当ビューロー及び京都市観光協会では、各団体賛助会員などを対象とした、「京都観光ワクチン接種（職域接種）」を実施いたしました。

国からのワクチン配給の遅延により、当初計画していた日程・会場から変更が生じたものの、京都の観光事業者など2,200名を超える方が接種されました。

今回の実施に当たっては、医師を派遣いただきました医療法人足立病院、会場である京都市勧業館みやこめッセをはじめ多くの皆様のご協力・ご理解を得ながら実施ができました。この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。

京都観光ワクチン接種により、観光客のみならず、観光客を受け入れる事業者の皆様の安心・安全な環境づくりに貢献し、早期の需要回復に努めてまいります。

【実施概要】

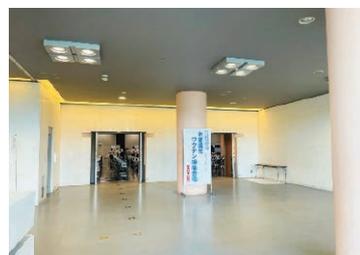
1 日程

1回目接種：2021年8月30日（月）～9月2日（木）

2回目接種：2021年10月5日（火）～8日（金）

2 会場

京都市勧業館 みやこめッセ（第三展示場 B）



京都迎賓館は建設に当たり大工（数寄屋）、左官、建具、畳、庭園など11種の伝統技能の技が使われ、同じく調度品についても西陣織、漆、蒔絵、京指物など14種の技が活用された、我が国屈指の京都の伝統技能の粋が現代に結集した施設です。

京都迎賓館では、国公賓等の接遇を行っており、京料理をはじめ茶道やいけばな、能、京舞など、京都の持つ1200年にも及ぶ歴史と文化でおもてなしをしています。

この度、京都迎賓館が持つ技とおもてなしの価値を改めて多くの人に知っていただくため、「京料理」をテーマとする動画を作成し、瓢亭14代当主の高橋英一氏に京都迎賓館の料理の魅力やおもてなしなどについてお話いただきました。

動画は当ビューローのホームページなどで10月中旬に公開予定です。



高橋英一氏



売上高が30%以上減少している中小企業や個人事業者等（時短要請協力金の対象事業者を除く）を対象に感染症対策や事業を継続させるための経費を補助（対象経費の3/4以内、上限額：法人・団体15万円、個人事業者10万円）。

詳細はこちらから



京都迎賓館では賓客の接遇に支障のない範囲で一般公開（通年）を実施しています。

詳細はこちらから





この度、第2回「古典の日文化基金賞」の応募者募集にあたり、「文学・思想」「伝統芸能・音楽」「美術・生活文化」の3分野の他に、特別賞「古典の日文化基金未来賞」を新たに設けることとなりました。この賞は、第1回の特別賞であった「芳賀徹記念賞」の理念と志を継承発展させ、次世代の日本文化を担う若者たち（小中高大学生ほか）の古典文化活動を励まし、顕彰するための特別賞です。百人一首、古典朗読、茶華道、和歌俳句など、また歌舞音楽などの古典芸能の修業、伝統工芸の職人技の継承など、ジャンルを問わず学校で、職場で、地域で、古典に親しむ活動を続ける皆さんを応援します。

募集期間 令和3年10月1日～令和4年3月31日

古典の日推進委員会は、令和3年度新たに創設した「古典の日文化基金賞」を契機にホームページをリニューアルしました。



酒井抱一「扇面貼交図屏風」より

新たなホームページは細見美術館のご協力を得て、江戸時代琳派の作品を画面各所にレイアウトし、魅力的なホームページに生まれ変わりました。画面各所の可愛い琳派の絵は、酒井抱一の「扇面図」、鈴木其一の「春秋草木図」、俵屋宗達の「双犬図」で、ページを訪れた人々を歓迎し、古典の世界に導いてくれます。

中でも今年度10シリーズ目を迎える「古典の日絵巻」は、昨年度の虎屋文庫・中山圭子さんの「古典作品で楽しむ和菓子」、一昨年度の京都府立植物園名誉園長・松谷茂さんの「わたしの源氏物語植物園」等、ユニークな視点から古典を取り上げた作品で大変好評でした。

今年度の第十巻は「京の美を担う次世代の作家たち」と題して連載中です。

「京の美を担う次世代の作家たち」ラインナップ



第1回(4月) 吉岡更紗(染色家)



第2回(5月) 諏訪蘇山(陶芸家)



第3回(6月) 伊東庄五郎(御所人形師)



第4回(7月) 小倉智恵美(竹工芸作家)



第5回(8月) 杉本晃則(塗師)・島本恵未(蒔絵師)



第6回(9月) 青山洋子(和菓子職人)

それぞれのジャンルで活躍されている作家の皆さんから、ものづくりやお仕事にかける想いを綴っていただきます。伝統と先端の間に立つて挑戦し、誕生するものとは一体どのようなものでしょうか。作家の皆さんの手によって誕生するまでの知っているようで、知られなかった世界をお話いただきます。

第7回からのラインナップ

第7回(10月) 八木隆裕(茶筒)

第8回(11月) 山本茜(戴金ガラス作家)

第9回(12月) 種田真紀(陶芸家)

第10回(1月) 羽田登喜(友禅作家)

第11回(2月) 平井恭子(京版画摺師)

第12回(3月) 江里朋子(戴金作家)

新規賛助会員のご紹介(受付順)2021年8月末受付分まで

株式会社 新映社 TEL:075-311-1951 <https://www.shin-a-sya.co.jp/>

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー(KCVB) 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階

TEL:075-353-3050 FAX:075-353-3055

<https://hellokcb.or.jp>